

第1回東日本大震災チャリティー・ハンドセラピー研修会のお知らせ

平成23年3月11日午後に発生した東日本大震災において、お亡くなりになられた方々に深い哀悼の意をささげますとともに、ご遺族の皆様にご心からお悔やみ申し上げます。また、被災された地域のすべての皆様へ、謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

震災発生より数ヶ月が過ぎた現状においても甚大な被害を目の当たりにして心が痛んでやみません。微力ながら私たちが今出来ることとして復興支援を目的としたチャリティー研修会を企画いたしました。医療従事者の皆様におかれましては、今回の趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方の参加や協力を御願ひしたいと思います。

本研修会の参加費は東日本大震災の義援金として使わせていただきます。

1. 日 時：平成23年 9月 4日（日）
2. 場 所：兵庫医療大学オクタホール（講堂）
3. 参加費：3,000円（学生は無料）

○ 参加申込方法および問合せ先

Mail のみの申し込みとさせていただきます

- ① 氏名（フリ仮名）②所属（都道府県）③連絡先 を明記してください
東日本大震災チャリティー・ハンドセラピー研修会事務局宛

Mail address：otsada@msn.com

553-000 大阪市福島区 2-1-7

関西電力病院リハビリテーション科 宮本

○ 締め切り：

平成23年8月31日（定員になり次第締め切りとさせていただきます）

○ 主 催：

大阪手外科研究会

京都ハンドセラピー研究会

神戸ハンドリハビリテーション研究会

○ 兵庫医療大学：兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6（Tel:078-304-3000）

「三宮駅」よりポートライナーにて「市民病院前駅」下車

○ お知らせ：会場周辺には食事をとれる場所がありません。レストランはありますが席数に限りがありますお弁当をご持参下さい。

第1回東日本大震災チャリティー・ハンドセラピー研修会 Program

術後セラピーのポイント

講義内容の要旨

手外科医（整形外科医）の行う手術を受けてハンドセラピスト（セラピスト）は患者に最良の機能を提供する責務を負う。

手術は機能解剖を基本に最良の手技を用いて、患者が最良の機能を得るように構成された医学的知識体系の中で実施される。ゴールは最良の機能（可動域、筋力、運動機能、感覚機能、ADL機能、就業能力等々）の獲得である。

ハンドセラピーは手術の目指すゴールを達成する責務を負う。そして、最良の機能を獲得するため、セラピーとしての知識体系と技術体系を持たなければならない。

術後セラピーを最良の機能獲得に導くための原理

1. 手術内容、手技に関する基本的知識を知る
2. 手術部位の機能解剖の知識を持つ
3. 骨、軟骨、関節包・靭帯、筋・腱組織、神経の修復過程の知識を持つ
4. セラピーの技術体系を理解し、実践できる能力を持つ
5. 治療の主体者である患者様の性格、ADL、APDL、仕事などを統合して理解する

今回の研修会では多くのセラピストが日常診療の中で最も頻繁に遭遇する疾患を取り上げ、その術後セラピーのポイントに焦点をあわせ臨床的な観点から講義を組んだ。講義の中には上記の原理が含まれている。

プログラム

AM09:50～09:55 開会の挨拶、趣旨説明

AM10:00～11:00

1. 上肢の骨・関節損傷に対するハンドセラピィの基礎

骨、軟部組織、神経の修復過程についての基礎知識

最良の機能を再獲得する上でセラピストが果たさなければならない役割とは？

講師：NPO 健康医療評価研究機構

上羽康夫 MD

AM11:10～12:10

2. 上腕骨骨折後のセラピィのポイント —上腕骨近位端骨折を中心に—

肩関節の機能解剖に基づく肩関節の術後セラピィのポイント

講師：京都武田病院

内座保弘 OTR

AM12:10～PM1:30 昼の休憩時間

PM1:30～2:30

3. 肘関節の骨折後のセラピィのポイント —肘頭骨折を中心に—

肘関節の機能解剖に基づく肘関節の術後セラピィのポイント

講師：高槻赤十字病院

西出義明 OTR

PM2:40～3:40

4. 手関節の骨折後のセラピィのポイント —橈骨遠位端骨折を中心に—

手関節の機能解剖に基づく手関節の骨折の術後セラピィのポイント

講師：葛城病院

藤目智博 OTR

PM3:50～4:50

5. 手指骨折後のセラピィのポイント

手指の機能解剖に基づく手指骨折の術後セラピィのポイント

講師：兵庫医療大学

櫛辺 勇 OTR

PM 4:50～ 閉会挨拶